

デザインにはこだわりの深い理由がある・・・

才職建美

デザインには人の思いが込められており、
それぞれに物語が秘められています。

第2号



【外観】



【内観：フロント】



【内観：脱衣所・浴場】



喜楽湯

(きらくゆ)

リノベーション
部 門

■建物概要

- 所 在 地:川口5丁目21-6
- 店舗種別:銭湯
- 建物築年:昭和25年頃

■運営

TOKYOSENTO(株式会社東京銭湯)

東京を中心とした銭湯情報を発信する銭湯メディアです。かつては「お風呂」としてだけでなく、「地域のコミュニティの場」としての役割を担っていた銭湯の魅力を幅広い年代の人々に伝える為に、WEB上での銭湯レビューの公開等を行っています。

また、後継者や働き手不足の銭湯経営者に代わり、運営を行う事業も展開しており、喜楽湯はその第1号です。



2017年グッドデザイン賞 受賞(地域・コミュニティづくり/社会貢献活動)

■設計コンセプト

近年では初めて行く人は入りづらいというイメージがある銭湯ですが、幅広い年代のお客様に来てもらいたいという思いから、明るい雰囲気コンセプトにしています。

入口の暖簾や看板のデザインをリニューアルし、通りに面した外の休憩スペースにカラフルな椅子を設置する等、銭湯にあまり馴染みのない若い世代の人でも気軽に入りやすいような工夫をしています。

■設計のこだわり

所有者からの依頼で、2016年4月からTOKYOSENTOが経営という形で運営しております。委託されたときには既に現在の状態に改修されていましたが、暖簾のロゴや、オリジナルの入浴グッズ(タオルやTシャツ等)は全て自分達でデザインしました。

脱衣所～浴場部分は築80年の既存建物の柱や梁等、木の部分をそのまま残すことで趣のある雰囲気を活かしつつ、外からの光が白い壁や天井に反射して空間全体が明るくなるように補修を行ったと聞いています。

【外観】



【内観：1階】



【内観：2階】



撮影:永石秀彦

arp hills

(アーブヒルズ)

建築デザイン
部 門

■建物概要

- 所 在 地:長蔵1丁目18-3
- 主要用途:美容院
- 構 造 等:木造2階建
- 延べ面積:131.35㎡

■設計事務所

エマニュエル・ムホー アーキテクチャー+デザイン
(千代田区内神田1-14-14 東連協ビル3F)

■設計者

エマニュエル・ムホー
(東京在住フランス人建築家/デザイナー)



■受賞歴(抜粋):

- 2017年 ARCHITIZER A+AWARDS Finalist(米)
楽鴨信用金庫 中青木支店
- 2016年 American Architecture Prize Bronze(米)
楽鴨信用金庫 中青木支店
- 2015年 International Design Awards Honorable Mention(米)
楽鴨信用金庫 中青木支店
- 2015年 スペースデザインコンテスト グランプリ (日)
楽鴨信用金庫 江古田支店
- 2015年 スペースデザインコンテスト 部門賞 公共生活空間(日)
楽鴨信用金庫 中青木支店

■設計コンセプト

自分独自の設計コンセプトである「色切/shikiri」(色で空間を仕切る。色で空間をつくる。)に基づいて、1階では、お客様エリアとスタッフエリアを仕切る棚を、2階では、フレキシブルに空間を作ることができる天井吊り下げ型スライディングをデザインし、壁ではなく色で空間を仕切りました。

■設計のこだわり

クライアントが自らデザインした「arp hills」のロゴがピンクだったのと、女性をメインターゲットにした美容室とのことから、棚や受付カウンター、椅子、スライディングパーティションに複数のピンクを使い、女性らしい雰囲気仕上げました。

壁ではなくスライディングパーティションで室内を仕切ることで、フレキシブルに空間を構成することが出来るようにデザインしました。

また、SE工法(木造ラーメン工法)を用いて、柱の少ない広い空間を造りながら、木造ならではの温かさを感じていただく為に、梁を隠さず、そのまま見せるようにしました。

外部に関しては、道路に面しているファサードはシンプルに白で仕上げ、大きなガラス窓を設けました。ガラスから様々な色のピンクが見えて、思わず入りたくなるような「かわいい」建物を意識して設計しました。

■エピソード

日本ではあまり内装にグラデーションカラーを使用することはないそうで、美容室に来るお客様からは明るい印象で心地良いという言葉をいただいております。

【外観】



【内観】



K's BAKERY

(ケイズベーカリー)

リノベーション
部 門

■建物概要

- 所 在 地:本町4丁目5-8
- 店舗種別:パン屋
- 出店時期:平成25年10月
- 建物築年:昭和56年頃
- 以前の店舗:クリーニング屋

■オーナー

鹿島 崇(かしま たかし)

川口市生まれ。

横浜ベイシエラトン、パークハイアット東京、ハイアットリージェンシー東京等の都内近郊ホテルでパン作りの修行を積み、2013年10月にK's BAKERYを開店しました。

■今の場所を決めた理由

自身が川口出身で、地元に着密した、お客様に愛される店を出したいと思ったからです。

■店名の由来

川口の「K」と自身のイニシャルからとりました。

■設計コンセプト

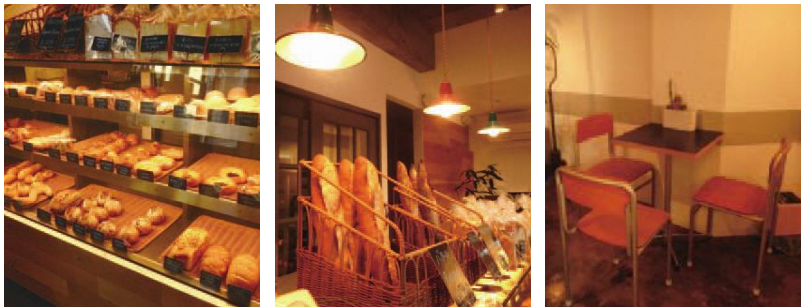
お客様が居心地の良い空間をコンセプトにしています。

■設計のこだわり

対面式のショーケースでパンを販売することで、お客様とより近い距離で接することが出来るようにしました。

パン屋は厨房機器が高額な為、内装に関してはデザイン業者との綿密な打ち合わせの上、ショーケースの高さ、照明、床材、壁等を検討し、コストを抑えつつ特注で作成してもらいました。

また、店内のインテリアや照明器具等はいろいろなお店に直接出向き、こだわって選んでおります。



◎「才職建美」について

「才色兼備」、その言葉は一般的に知性と美貌を兼ね備えた女性に使われる言葉です。このことは建物にも共通し、「才覚」があり、建物の設計や起業を「職」とする者が手掛ける「建物」の外観は勿論、内部の計画やデザインにおいても優れた「美」を演出し、人やまちに魅力や潤いを与えます。我々はこれを「才職建美」と呼称しております。

◎企画の目的について

この企画は「人と建物デザインのかかわり合い」というテーマを軸に市内の「広げたい空間」、「真似したい空間」を情報発信・集積・交換を行うことにより、「人が集うまちの活性化」を目指し、「市内全体の空間の質の向上」を図ることを目的としております。

◎口コミ情報の募集について

「自分がデザインした建物を見てほしい」や「近所にこんなお洒落なお店があり取材してほしい」という物件の口コミ情報を自薦・他薦を問わず募集しております。下記アドレスまでお気軽にご投稿をお願い致します。なお、こだわりのある建物デザインや、人が集う空間デザインをメインとした企画のため、食事のメニューや商品の紹介等は掲載することを控えていただきます。

また、企画相応のデザイン等を募集しておりますのでご了承ください。

メールアドレス:keikan.design@city.kawaguchi.saitama.jp
川口市役所 都市計画課



ステージSEN／SayaSoyo

(サヤソヨ)

建築デザイン
部 門

■建物概要

- 所 在 地:戸塚南4丁目4-40
- 主要用途:和舞台・飲食店
- 構 造 等:木造1階建
- 延べ面積:145.81㎡

■設計コンセプト

緑の美しいこの町に「和ごとの辻」とし、日本舞踊に限らず日本文化が集い、楽しめる場所になればと考え、その際にお茶や軽食を頂くスペースとしてカフェを併設しました。

現在、舞台は作法教室やヨガ教室、落語、琵琶、津軽三味線、朗読などのイベントが開催されています。

カフェの方は、現在は創作レストランとしてプライダルやジャズイベント等にも利用され、ゆっくりと料理を楽しんでいただいています。

■設計のこだわり

和舞台のスペースは日本舞踊の家元(藤間勘右工門)の舞台と同じ造りにしています。総ヒノキの二重床(床が二重になっており、音が反響する)はメンテナンスに気をつけることで新築時の色味を保っています。

店舗スペースにあるテーブルやカウンターは、スギの一枚板で出来ており、新築の際に内装の雰囲気に合わせて造りました。

舞台スペース・店舗とも天井が吹き抜けになっていて、広々とした空間になっています。音が響きやすい設計になっている為、楽器の音色が隅々まで響き渡り、プロの演奏家の方にも好評をいただいています。

庭には桜の木やバラなどの様々な植物が植えてあり、季節ごとに美しい自然を感じることが出来、非日常の空間を演出しています。

■店名の由来(SayaSoyo)

新築時、周りに何も無い高台で、風が「さやさや、そよそよ」と吹き抜けていた為です。

庭の広さも現在の2倍ほどありましたが、手入れが行き届かず、狭くしました。



オーナー 早坂 恵美子



AMBER DROP COFFEE ROASTERS

(アンバードロップ コーヒーロースタース)

■建物概要

- 所 在 地:幸町2丁目15-4 ノザキヤビル1階
- 店舗種別:カフェ
- 出店時期:平成28年6月
- 建物築年:昭和61年頃
- 以前の店舗:印章店(ハンコ屋)

■今の場所を決めた理由

27年間、川口に住んでおり、地元に近いところで出店したいと考えていました。都内でも探していましたが、この場所の情報が出てすぐに見に行き、直感的にここだと思い、翌日には契約しました。大通り沿いで、商店街との角に位置する為、人通りも多く、立地には満足しています。

■店名の由来

AMBER DROPとは「琥珀の雫」という意味です。コーヒーを抽出している時、ドライバーから落ちる琥珀色のコーヒーの雫が、下にたまった液面の上を「琥珀玉」となって踊るように転がっていく現象が見られることがあります。

これは、抽出されたコーヒーの成分や濃度がある一定以上に達した時に起こる現象で、美味しいコーヒーの条件の一つと考えています。このような琥珀玉ができるコーヒーをお客様に提供したいという思いから、この店名にしました。

COFFEE ROASTERSをつけたのは、カフェだけでなく、上質な焙煎豆の販売にも力を入れている為です。

■設計コンセプト

単なるカフェに留まらず、美味しいコーヒーやケーキなどをゆっくりと楽しむ場として、忙しい日常とは異なる落ち着いた雰囲気コンセプトにしました。

■設計のこだわり

モトーンを基調とし、鉄や古材、流木などを使用して落ち着いた雰囲気を演出するようにしました。

店内の照明も既製品ではなく、コンクリートやガラスのピーカーなどを使ってオリジナルで作ってもらいました。白い壁に電球の光が反射し、暖かい印象になるようにしています。

また、黒のアイアン調にもこだわりがあり、川口といえば鋳物産業ということや、焙煎機の一部にも鋳物の部品が使われていることもあり、全体に統一感を出す為に、吊戸やカウンターなど、通常は鉄を使用しない部分も特注で作ってもらいました。



オーナー 新井 孝夫

才職建美で紹介された作品の案内図



1 巣鴨信用金庫 中青木支店



4 ダーツスペース Ray



7 喜楽湯



10 Chant d'Oiseau



13 AMBER DROP COFFEE ROASTERS



2 春華園茶舗



5 ステージSEN／SayaSoyo



8 ますいハウス



11 Rossi Café



14 パンの田島



3 arp hills



6 わらび高砂



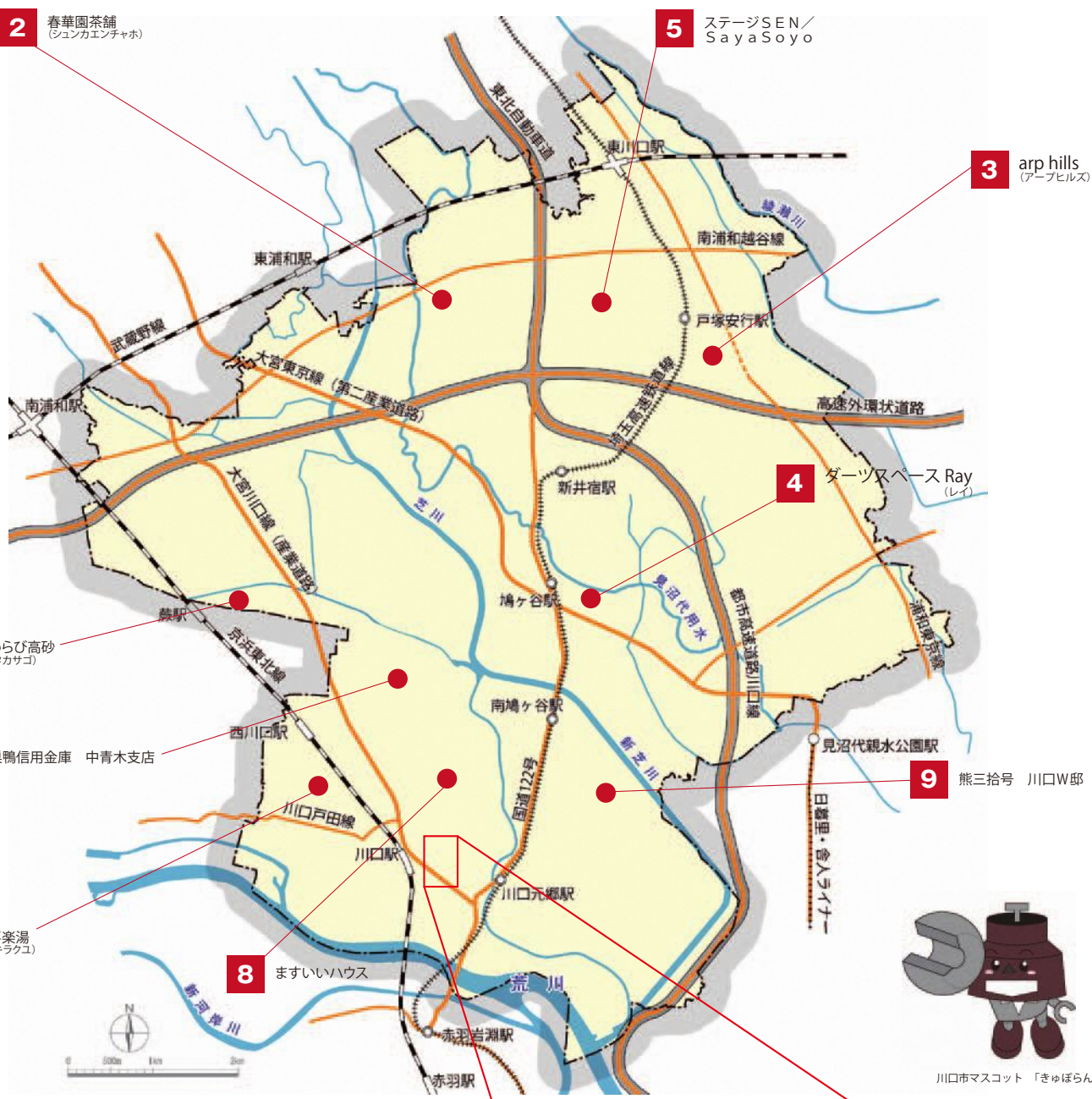
9 熊三拾号 川口W邸



12 SHO-AN 2



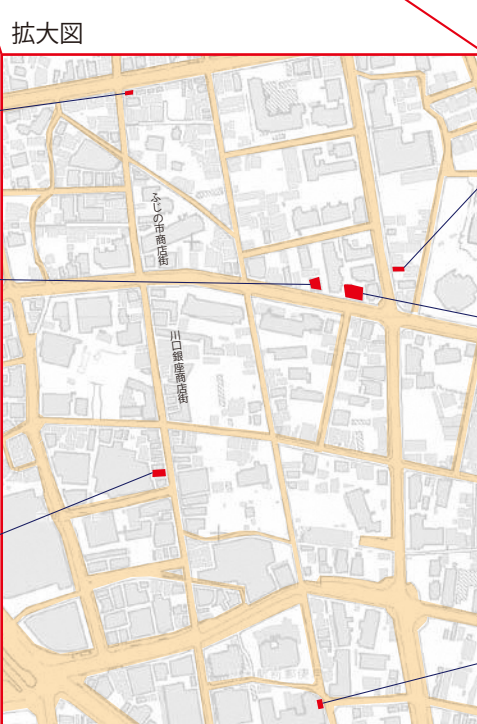
15 K's BAKERY



「才職建美」ホームページ公開中

「才職建美」で取り上げた全ての作品の紹介はもちろん、市民の方から設計者やオーナーさんへの質問に丁寧に回答していただけるコーナー、皆さんからの口コミ情報などを掲載しております。詳しくは下記アドレスよりご覧下さい。

URL:<http://www.kenbi-saisyoku.jp>



【※】につきましては、「才職建美 第1号」で紹介した作品です。 【□】につきましては、口コミで情報提供があり、HPに掲載している作品です。